

# 第22回 廃棄物資源循環学会研究発表会 参加案内

2011年11月3日(木)～11月5日(土)

東洋大学白山第二キャンパス

## 目次

○ 第22回 廃棄物資源循環学会研究発表会の開催にあたって.....	2
○ 開催行事一覧.....	3
○ 特別プログラム(一般公開企画・無料) .....	4
○ 国際シンポジウム・International Symposium .....	4
○ 行事案内.....	5
・研究発表(口頭発表・ポスター発表・国際セッション) .....	5
・市民展示・企画展示(一般公開企画・無料) .....	5
・施設見学会.....	5
・意見交換会.....	5
○ 一般セッション.....	6
○ International Hybrid Session.....	19
○ 企画セッション.....	21
○ 参加申込方法.....	25
○ 発表ガイドライン .....	26
・口頭発表.....	26
・ポスター発表・国際セッション.....	26
○ 会場へのアクセス・来校者への注意事項.....	27
○ 会場案内図 .....	28
○ 緊急時の問い合わせ先.....	30
○ 協賛団体.....	31
○ タイムスケジュール.....	32

## ご注意 ～例年と異なる点があります。必ずお読みください。～

- 参加申込みについて**
  - ・事前に参加申込された方は、10月中旬に参加証およびCD-ROM版論文集を郵送いたします。当日受付の必要はありません。直接会場へお越しください。
  - ・当日参加申込された方には、受付にて、参加証およびCD-ROM版論文集をお渡し致します。
  - ・印刷製本版は作成しません。また、当日会場でのプリントサービスも行いません。
- 会場アクセス・来校者への注意事項 (p.27)**
  - ・会場の白山第二キャンパスは、住宅地にあるため、登下校時は静粛にお願い致します。
  - ・会場キャンパスは、自家用車、自動二輪車、自転車での来校を禁じております。公共交通機関を用いてご来校ください。
  - ・登下校の順路も決まっておりますので、地図(p.27)でご確認の上、誘導員の指示に従って通行ください。
  - ・会場キャンパス内は指定場所以外禁煙となっております。また、文京区は歩行喫煙禁止条例を制定しており、歩きタバコが禁止されている他、地下鉄駅出口付近での喫煙も禁止されております。
- 屋食場所**
  - ・学会開催時はキャンパス内の食堂(座席数に限りあり)は営業予定です。
  - ・今年は会場での弁当・お茶の販売は行いません。また、近隣で屋食がとれるレストランなども限られておりますので、時間に余裕のない方は屋食および飲み物の持参をおすすめします。
  - ・会場の休憩室等で飲食していただくことが可能です。その際、発生するごみについては、会場内の休憩室において回収します。キャンパス内に大学が設置しているゴミ箱は利用されないようお願いいたします。

## 第 22 回 廃棄物資源循環学会研究発表会の開催にあたって

第 22 回廃棄物資源循環学会研究発表会  
実行委員会委員長  
東洋大学 国際地域学部国際地域学科 教授 北脇 秀敏



第 22 回廃棄物資源循環学会研究発表会によるこそ。

今回は研究発表会の歴史の中で初めて東京都内の大学での開催となります。開催場所である文京区は東京の中でも大学が多い文教地区として知られています。会場の東洋大学白山第二キャンパスは、小石川植物園に隣接する閑静な住宅街に平成 18 年に開設されました。研究発表会が行われる 11 月 3 日から 5 日には、会場から徒歩約 7 分の同大学白山キャンパスで学園祭も行われています。足を延ばして学生時代の楽しく懐かしい雰囲気味わっていただくのも良いかもしれません。

発表会の準備段階を振り返ってみますと、今年 3 月 11 日、まさに実行委員幹事会を開催している最中、東日本大震災が発生しました。早々に幹事会を解散したあと報道等で津波被害の甚大さを知り、言葉を失いました。それに加えて原子力発電所の事故などによる放射性物質の拡散の問題は、わが国がかつて経験したことのない規模の問題となっています。今なお多大な困難に直面しておられる被災地の方々には心よりお見舞いを申しあげますとともに、研究発表会をこうした問題の解決に寄与するための情報提供の場にできるようにと考えてきました。

今回の研究発表では特別プログラム「震災に対して廃棄物資源循環学会が貢献できることは何か？」を企画しています。被災地の復興には災害により発生した廃棄物の速やかで適切な処理が不可欠ですが、震災直後から学会が立ち上げた災害廃棄物対策・復興タスクチームの災害廃棄物への取組みと課題をとりあげました。また喫緊の課題である放射性物質を含む廃棄物への対応についても議論します。

一方、日韓の専門家を中心に開催する国際シンポジウム（使用言語：英語）では、両国で問題となっている水銀を含む廃棄物の処理などを議論することになっています。また市民展示・企画では文京区の市民活動や環境漫画家の高月紘先生（ハイムーン氏）のモンゴルでの展示会の様子などを展示します。施設見学は最終日に東京都のスーパーエコタウン施設の見学を、意見交換会は 2 日目の夕方に会場内の学食で予定しています。

今回の研究発表会の会場は都心の手狭な大学キャンパスを会場として開催するため、参加者の皆様には何かとご不便をおかけすることになると思いますが、実行委員一同、多くの方がお越しになって研究交流と懇親とを深めていただけることを願っております。